



面積 45.64km²
人口 144,654人
世帯数 62,291世帯
(平成30年1月1日現在)

港区

ウォーターフロント、農業振興など多様な側面を持つ

中部圏の海の玄関であり、日本を代表する国際貿易港である名古屋港を擁した工業地域である一方、ガーデンふ頭を中心にウォーターフロントを生かしたまちづくりが着々と進められ、海洋文化・レクリエーションの拠点となっている。区の西部には、日光川公園に国内最大級のプールであるサンビーチ日光川や農業文化園、戸田川緑地があり、多くの市民に親しまれている。

港区役所

☎052-651-3251 〒455-8520 港区港明1-12-20

【業務取扱時間】

月～金曜日/午前8時45分～午後5時15分
(祝・休日・年末年始を除く)

※日曜窓口については9ページをご覧ください。

【交通】

- 地下鉄/名港線「港区役所」駅から徒歩3分
- 市バス/「港区役所」から、徒歩3分



南陽支所

☎052-301-8118 〒455-0873 港区春田野3-1801

【業務取扱時間】

月～金曜日/午前8時45分～午後5時15分
(祝・休日・年末年始を除く)

※日曜窓口については9ページをご覧ください。

【交通】

- 市バス/「南陽支所」から、徒歩1分



港区イベント

港区では
楽しいイベントが
盛りだくさん!



みなと祭

毎年7月、ガーデンふ頭を中心に、海に親しむさまざまな催しが開催される。特に最後を飾る花火大会は多くの人で賑わい、名古屋港の夏の風物詩として定着している。

戸田川緑地



1 とだがわこどもランド

●市バス/高畑14系統「八百島」から徒歩10分
名古屋市唯一の大型児童センターとして開園。ターザンロープやネット渡りなど30種類の遊具が揃う木製大型遊具のほか、小さい子でも安心して遊べる幼児遊具広場などもある。



2 農業文化園

●市バス/南陽巡回(右回り)「戸田川緑地」からすぐ
農具や昆虫標本のある農業科学館、四季の草花や世界の植物を楽しむことができるフラワーセンターからなり、公園・道路などの花増用花苗を生産している花工場もある。



8 サンビーチ日光川

●市バス/東海12系統「サンビーチ日光川」からすぐ
国内で最大級の水面積を持つ淡水(上水道)プール。南洋のリゾート地の海辺をイメージして造られており、名古屋のワイキキビーチとして知られる。

港区の歴史

もともと港区はほとんどが海でした。

1640年、東福田新田から港区の干拓が始まりました。その後、茶屋新田(1663年開始)、熱田前新田(1800年開始)の干拓が行われました。

1907年(明治40年)に、その後の港区の発展を支える名古屋港が開港しました。

1937年(昭和12年)に日本初の国際的博覧会である名古屋汎太平洋平和博覧会が開催され、同年、港区が誕生しました。

1955年(昭和30年)に南陽町を港区に編入し、現在の区域がおおよそ形成されました。

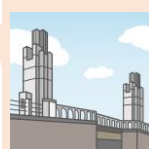
ひとくちメモ 津金文左衛門ってどんな人?

尾張藩9代藩主・徳川宗睦に仕え、熱田奉行等を務めました。熱田前新田の功労者として有名ですが、窯業開発の功労者でもあります。瀬戸陶磁器の完成に尽力し、中部地方特産品としての発展の基礎を築きました。



ひとくちメモ ろせった丸の果たした役割とは?

当初は困難を極めた熱田港(現在の名古屋港)の築港工事でしたが、奥田助七郎が入港させた「ろせった丸」は、世論の注目を集め、一気に築港のムードを盛り上げました。



ひとくちメモ 現存する平和のシンボル

港区役所前にある「平和橋」は、博覧会名にちなんで名付けられ、港区内で博覧会の跡をとどめる唯一の建造物とされています。



3 名古屋港ポートビル(ガーデンふ頭)

●地下鉄/名港線「名古屋港」駅から徒歩5分
名古屋港のシンボルゾーンとして整備されたガーデンふ頭。ポートビルは、海に浮かぶ白い帆船をイメージしたビルで、海・船・港等を紹介した海洋博物館をはじめ地上53mの高さの展望室などを備えている。



4 名古屋港水族館

●地下鉄/名港線「名古屋港」駅から徒歩5分
海棲哺乳類の進化の歴史を紹介した北館と、日本から南極までの5つの海域・水域に生息する生き物を紹介した南館から構成された日本最大級の都市型水族館です。シャチ、イルカ、ウミガメ、ペンギンなど50種5万点の生き物たちを展示しています。



5 リニア・鉄道館

●あおなみ線/「金城ふ頭」駅から徒歩約2分
歴代の東海道新幹線や在来線、超電導リニアなど計39もの実物車両が展示されている鉄道のミュージアム。このほか、国内最大級の鉄道ジオラマやシミュレータなど、様々な展示コーナーがある。



6 レゴランド®・ジャパン

●あおなみ線/「金城ふ頭」駅から徒歩10分
日本初となるレゴ®ブロックの屋外型テーマパーク「レゴランド®・ジャパン」。40を超える乗り物、ショー、アトラクションで1日通して家族みんなで遊べるテーマパークとなっている。



7 名古屋市港防災センター

●地下鉄/名港線「港区役所」駅から徒歩3分
震度7の地震体験、高潮(台風)や津波(地震)の3Dシミュレーター、煙避難体験などを通して、災害時の対応が学べる。また、自然災害に関する展示やイベントなどを実施しており、防災に関する知識を深めることができる施設。



9 荒子川公園

●あおなみ線/「荒子川公園」駅から徒歩3分
本格的都市緑化植物園を備えた総合公園で、荒子川の両岸に南北1kmにわたり広がっている。公園内には、ラベンダー園、サンクガーデン、日本庭園、わんぱく冒険広場、デイキャンプ場などのほか、テニスコートがある。



10 百曲街道

●あおなみ線/「名古屋競馬場前」駅から徒歩12分
中川区尾頭橋から港区正徳橋までの街道。慶安2年、熱田新田の干拓が行われた後、自然にできた道路で、くねくね曲がっていることから、「百曲街道」と呼ばれるようになった。



11 稲永公園

●あおなみ線/「野跡」駅から徒歩5分
スポーツセンターやサッカー場、野球場、テニスコートを備えた運動公園。藤前干潟のそばにあるため野鳥観察館が設置されており、バードウォッチングが楽しめる。

第2次世界大戦後の年表

1946年	(昭和21年)	みなと祭が始まる
1955年	(昭和30年)	南陽町を港区に編入
1959年	(昭和34年)	伊勢湾台風が襲来
1973年	(昭和48年)	名古屋市国際展示場開館
1989年	(平成元年)	世界デザイン博開催
1992年	(平成4年)	名古屋港水族館開館
2002年	(平成14年)	藤前干潟がラムサール条約に登録
2004年	(平成16年)	あおなみ線開通
2011年	(平成23年)	リニア・鉄道館開館
2017年	(平成29年)	レゴランド開園

ひとくちメモ 始まりは復興祭

名古屋港の夏の風物詩である「みなと祭」は、第2次世界大戦後の1946年(昭和21年)に「名古屋復興祭協賛みなと祭」をきっかけにして始まりました。この祭には地元が参加して復興にまい進する心意気を示しました。

ひとくちメモ デザイン都市なごやへの飛翔

名古屋港会場は「楽しさへの旅立ち」がテーマでした。開催を機に出された「デザイン都市宣言」を核として、今日の名古屋のまちづくりが進められています。

